

【別紙様式】

長野県松本市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	交通対策事業（新型コロナウイルス対策公共交通運行支援事業） 9月補正予算分（4~7月分）		
総事業費 （千円）	56,140千円	交付金関連事業費 （交付対象経費） （千円）	56,140千円
事業概要	<p>①目的 路線バス及び上高地線の利用者が大幅に減少し、運行事業者の収益が悪化していることを受け、公共交通確保の観点から公的支援を実施</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 年間想定支援額を補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス 年間想定支援額（年間走行距離×運行単価-運行収入等見込額） 126,422千円（954,143キロ×448.56円-301,569千円）÷12カ月×4カ月 =42,140千円 ・年間想定支援額（運行経費-運賃等収入見込額×1/2） 41,980千円（318,324千円-234,364千円×1/2）÷12カ月×4カ月 =14,000千円 <p>③交付対象</p> <ol style="list-style-type: none"> 1）交付対象者 アルピコ交通株式会社、アルピコ交通上高地線 2）交付対象者の選定理由・選定方法 アルピコ交通株式会社、アルピコ交通上高地線は市民の足となる市内路線バス、鉄道事業を担っており、通勤、通学、通院、買い物等、市民の日常生活に欠かせないものとなっており、支援が必要である。 <p>④期待される効果 将来に向けて持続可能な交通インフラの確保</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、鉄道、路線バスの利用者が減少しており、当該事業者の収益が悪化している。通院、買い物、通勤、通学など市民の「足」を確保するために公的支援を行うもの。</p>		